

薩摩半島南端から得られた標本に基づく九州初記録 のキテンハタ

著者	上城 拓也, 平田 堅固, 本村 浩之
雑誌名	Nature of Kagoshima
巻	45
ページ	295-296
発行年	2019-05-31
URL	http://hdl.handle.net/10232/00031334

薩摩半島南端から得られた標本に基づく九州初記録のキテンハタ

上城拓也¹・平田堅固²・本村浩之³¹ 〒 890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20 鹿児島大学大学院水産学研究所² 〒 890-0082 鹿児島市紫原³ 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館

■ はじめに

キテンハタ *Epinephelus bleekeri* (Vaillant, 1878) は、インド・西太平洋に広く分布するハタ科魚類である (Randall and Heemstra, 1991). 日本国内においては大隅諸島種子島, 奄美大島, および八重山諸島から標本に基づき記録され, 神奈川県小田原市, 愛媛県南宇和郡, 宮崎県東臼杵郡, 鹿児島県南さつま市, および大隅諸島屋久島から写真あるいは信頼性のある目視記録が報告されている (藤原ほか, 2015).

2018年9月23日に鹿児島県指宿市川尻漁港沖の水深60mにある魚礁から1個体のキテンハタが釣獲された. 本標本はキテンハタの九州からの標本に基づく初めての記録となるため, ここに報告する.

■ 材料と方法

標本の計数・計測は Randall and Heemstra (1991) にしたがった. 標本の作製, 登録, 撮影, および固定方法は本村 (2009) に準拠した. 標準体長は体長または SL と表記し, ノギスを用いて 0.1 mm 単位で計測した. 本報告で用いられた標本 (KAUM-I. 120618, 体長 413.5 mm, 鹿児島県指宿市川尻漁港沖, 水深 60 m, 2018 年 9 月 23 日, 釣り, 平

田堅固) は鹿児島大学総合研究博物館 (KAUM) に保管されており, 上記の生鮮時の写真 (Fig. 1) は同館の画像データベースに登録されている.

■ 結果と考察

指宿市産の標本は, 背鰭が 11 棘 16 軟条, 側線鱗が 50 枚で, 側線鱗小管が分枝せず単一状, 頭長が体長の 38.9%, 体側鱗が櫛鱗, 背鰭棘部の鰭膜が切れ込む, 尾鰭が截形で後縁がやや丸みをおびる, 黄色あるいはオレンジ色の小斑が腹面を除く体側, および頭部, 背鰭, 尾鰭上部 1/3 に散在する, および尾鰭下部 2/3 が濃い灰色であることなどの特徴が Randall and Heemstra (1991) や藤原ほか (2015) が示した *Epinephelus bleekeri* の標徴とよく一致したため, 本種と同定された.

本標本の計数・計測形質は以下のとおりである. 背鰭 11 棘 16 軟条; 臀鰭 3 棘 8 軟条; 胸鰭 17 軟条; 腹鰭 1 棘 5 軟条; 鰓耙数 10 + 16. 体各部の体長に対する割合 (%): 頭長 38.9%; 吻長 10.1; 体高 33.8; 体幅 17.0; 眼窩径 5.6; 眼後長 23.8; 両眼間隔 6.4; 上顎長 16.7; 尾柄高 12.1; 尾柄長 19.3; 背鰭前長 36.1; 臀鰭前長 68.7; 腹鰭前長 38.0; 肛門前長 63.3; 背鰭基底長 58.6; 背鰭第 1 棘長 4.6; 背鰭第 2 棘長 9.9; 背鰭第 3 棘長 12.5; 背鰭第 4 棘長 12.5; 背鰭第 5 棘長 12.1; 背鰭第 6 棘長 11.8; 背鰭第 7 棘長 10.7; 背鰭第 8 棘長 10.3; 背鰭第 9 棘長 9.6; 背鰭第 10 棘長 9.0; 背鰭第 11 棘長 8.7; 最長背鰭軟条長 (第 8 軟条) 14.5; 臀鰭基底長 16.3; 第 1 臀鰭棘長 4.1; 第 2 臀鰭棘長 9.0; 第 3 臀鰭棘長 9.7; 最長臀鰭軟条長 (第 5 軟条) 15.2; 胸鰭長 20.8; 腹鰭棘長 10.2; 腹鰭長 14.1.

キテンハタの九州沿岸における記録は, 宮崎

Uejo, T., K. Hirata and H. Motomura. 2019. First specimen-based Kyushu record of *Epinephelus bleekeri* (Perciformes: Serranidae) from southern Satsuma Peninsula, Kagoshima, Japan. *Nature of Kagoshima* 45: 295-296.

✉ HM: the Kagoshima University Museum, 1-21-30 Korimoto, Kagoshima 890-0065, Japan (e-mail: motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp).

Published online: 29 March 2019

http://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_045/045-051.pdf



Fig. 1. Fresh specimen of *Epinephelus bleekeri* from Ibusuki, Kagoshima Prefecture, Japan (KAUM-I. 120618, 413.5 mm SL).

県北部と薩摩半島南西部の目視記録に限られ（藤原ほか，2015），標本に基づく報告はない（Tomiyama, 1972；岩坪・本村，2017；Iwatsuki et al., 2017；小枝ほか，2018）。したがって，鹿児島県指宿市産の標本（KAUM-I. 120618）はキテンハタの九州沿岸における標本に基づく初めての記録である。

■ 謝辞

本報告を取りまとめるにあたり，鹿児島大学大学院水産学研究所の中村潤平氏および鹿児島大学連合農学研究所の和田英敏氏には文献の提供および適切な助言をいただいた。また，鹿児島大学総合研究博物館魚類分類学研究室の学生やボランティアのみなさまには，標本の作製および登録作業においてご協力いただいた。ここに深く感謝する。本研究は鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島県産魚類の多様性調査プロジェクト」の一環として行われた。本研究の一部は公益財団法人日本海事科学振興財団「海の学びミュージアムサポート」，JSPS 科研費（19770067, 23580259, 24370041, 26241027, 26450265），JSPS 研究拠点形成事業－B アジア・アフリカ学術基盤形成型，国立科学博物館「日本の生物多様性ホットスポットの構造に関する研究プロジェクト」，文部科学省特別経費「薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育

研究拠点整備」，および鹿児島大学重点領域研究環境（生物多様性・島嶼プロジェクト）学長裁量経費の援助を受けた。

■ 引用文献

- 藤原恭司・高山真由美・桜井 雄・本村浩之. 2015. 日本におけるハタ科魚類 *Epinephelus bleekeri* の記録と分布状況，タクサ，39: 40–46.
- 岩坪洗樹・本村浩之（編）. 2017. 火山を望む甕海 鹿児島湾の魚類. 鹿児島大学総合研究博物館，鹿児島. 302 pp.
- Iwatsuki, Y., Nagino, H., Tanaka, F., Wada, H., Tanahara, K., Wada, M., Tanaka, H., Hidaka, K. and Kimura, S. 2017. Annotated checklist of marine and freshwater fishes in the Hyuga Nada area, southwestern Japan. Bulletin of the Graduate School of Bioresources, Mie University, 43: 27–55.
- 小枝圭太・畑 晴陵・山田守彦・本村浩之. 2018. 黒潮あたる鹿児島湾の海内之浦漁港に水揚げされる魚たち. 鹿児島大学総合研究博物館，鹿児島. 520 pp.
- 本村浩之. 2009. 魚類標本の作製と管理マニュアル. 鹿児島大学総合研究博物館，鹿児島. 70 pp.
- Randall, J. E. and Heemstra, P. C. 1991. Revision of Indo-Pacific groupers (Perciformes: Serranidae: Epinephelinae), with descriptions of five new species. Indo-Pacific Fishes, 20: 1–332.
- Tomiyama, I. 1972. List of the fishes preserved in the Aitsu Marine Biological Station, Kumamoto University, with notes on some interesting species and descriptions of two new species. Publication from the Amakusa Marine Biological Laboratory, Kyushu University, 3: 1–21.
- Vaillant, L. L. and Bocourt, F. 1878. Études sur les poissons. Mission scientifique au Mexique et dans l'Amérique centrale. Recherches zoologiques. Quatrième partie. Paris, Part 4: 41–120.